

令和7年度 第3回多摩市子ども・子育て会議 要点録

日時	令和7年10月21日（火） 18:00～19:30
場所	多摩市役所 301・302 会議室
参加者	加藤委員（会長）、山口委員、春田委員、西川委員、大津委員、野坂委員、早川委員、三井委員、廉田委員、佐藤（妙）委員、荒井委員 欠席：立花委員（副会長）、西委員、森田委員、木下委員

1. 開会

2. 報告

【報告事項】

- ① 医療費助成のマイナンバーカード によるオンライン資格確認（PMH）について
（子ども・若者政策課長より報告事項の説明）

～質疑等なし～

- ② 令和6年度多摩市子どもみらい会議の提案に対する市の回答について
（子ども・若者政策課長より報告事項の説明）

委員：私は聖ヶ丘の商店街で子ども食堂とデイサービスを運営しているが、先日、地域の小学生から交通事故に関する意識啓発のポスターを作成したので、商店街に貼ってほしいというお願いがあった。なぜそのような取組を行ったのか疑問だったが、本冊子を読んで、こども未来会議がこのような地域での行動につながっていると感じた。

委員：私の子どもが通っている学校が、次回のこども未来会議の実施校となる。こども未来会議に向けて、保護者や全校生徒の前で代表生徒がプレゼンテーションを行うなど、全校生徒一丸となって取り組んでいると聞いている。子どもにも、市からこのような回答を貰えることを伝えたい。子どもが小学生の時からこども未来会議のことは知っていたが、自分たちが発表する立場になり、とても真剣に取り組んでおり、日々の生活の中にもよい影響があると感じている。

委員：今年度は本校も実施校となっている。こども未来会議当日とは別に、ESDの取

り組みを互いに発表する場も設けている。

③ 「かがやけ！たまっこ１年生」の配布について
(幼児教育・保育担当課長より報告事項の説明)

委員 : 本冊子の配布対象者は誰か。

→事務局 : 新一年生となる子どもをもつ保護者である。就学前健診の際にお渡しする。

委員 : こども１１０番に関して改めて周知していただけるのはありがたい。

→事務局 : 子どもがいる担当者の意見も反映し作成した。

会長 : 先生と保護者に対するアンケート内で、「困ったときに人に伝える」と答えた人の割合が高い部分がよいと感じた。例えば、いじめがあった際に、しっかりと周りの大人たちに伝えることができることは大切である。

委員 : 本冊子を最初に作成したときは多くの時間がかかったと記憶している。８年で世の中が大きく変わっていることに驚いた。保幼小連携研修の中では、「心理的安全性」をテーマとしているため、「心理的安全性」に関する記載をしていただけているのはありがたく感じる。

④ 多摩市こども誰でも通園事業での総合支援システムの運用開始について
(幼児教育・保育担当課長より報告事項の説明)

～質疑等なし～

⑤ 令和８年 多摩市二十歳の祝賀祭について
(児童青少年課長より報告事項の説明)

会長 : 実行委員会のメンバーは何名か。

→事務局 : ２０名である。

3. 委員より挨拶

（3年間の任期が満了するに伴い、各委員からご挨拶）

4. 閉会